

6-10 1994年都井岬沖地震について

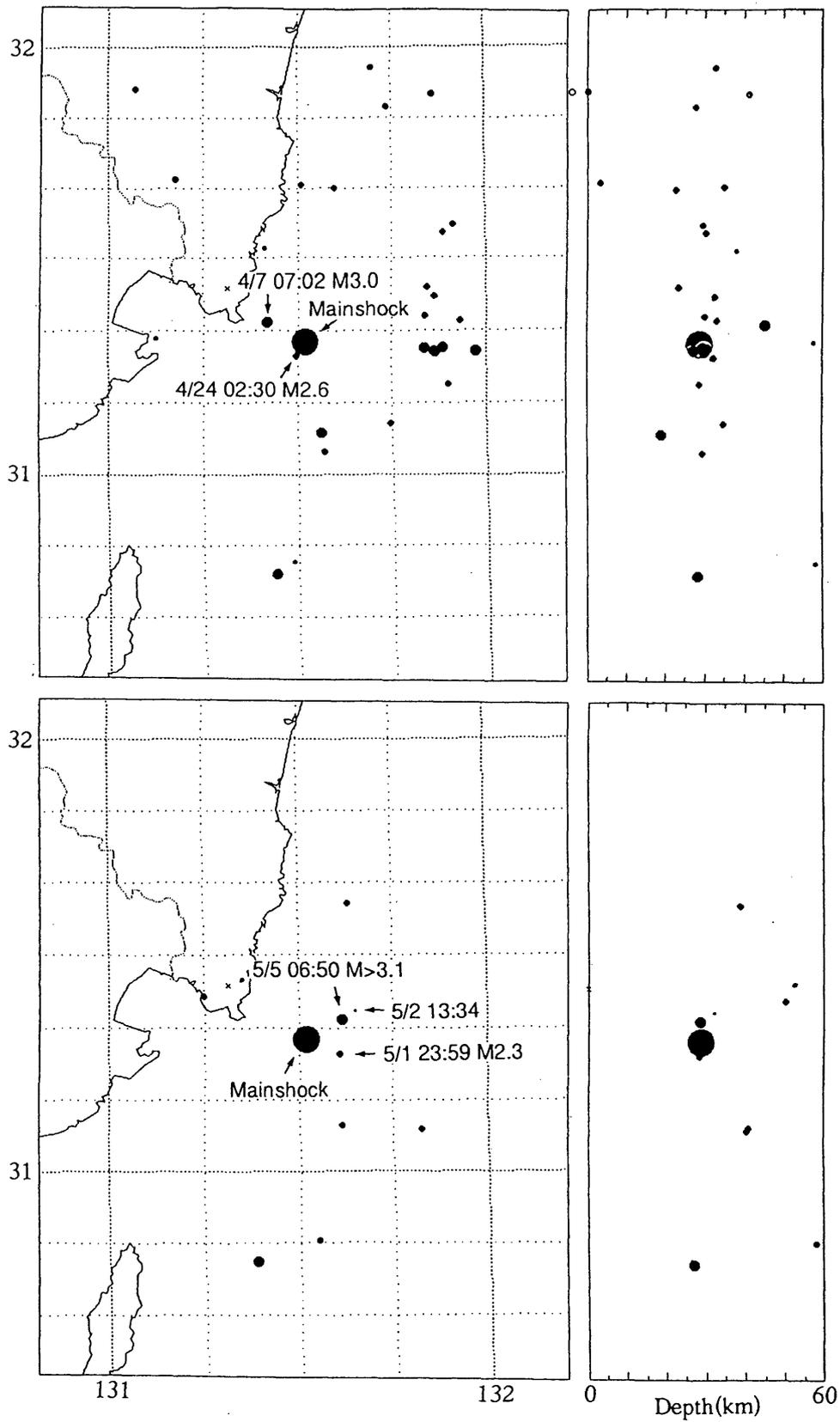
On the 1994 Toimisaki-oki Earthquake

鹿児島大学 理学部

Faculty of Science, Kagoshima University

1994年4月30日12時28分頃、宮崎県都井岬沖でマグニチュード6.4の地震が発生した。震源は都井岬の南東沖およそ24km、震源の深さはおよそ29kmである(第1図)。第2図に鹿児島大学および九州大学のデータから求められた発震機構解を観測波形とともに示す。TKDおよびNAGT観測点では初動は明瞭であるが、震源に最も近いKUSM観測点およびKOSK観測点での初動は小振幅である。このことを考慮すると解は逆断層となる。第1図には、4月1日から本震発生まで(上図)および本震発生から5月10日まで(下図)の本震発生領域周辺の地震活動が示されている。本震発生6日前に、前震と思われる地震が1個だけ発生している。余震については、本震の規模から考えると異常に少なく、5月10日までに本震近傍に震源が求まった地震は3個だけである。本震からおよそ24km離れた観測点KUSMの記録を調べても、余震と思われる地震はほとんどない。

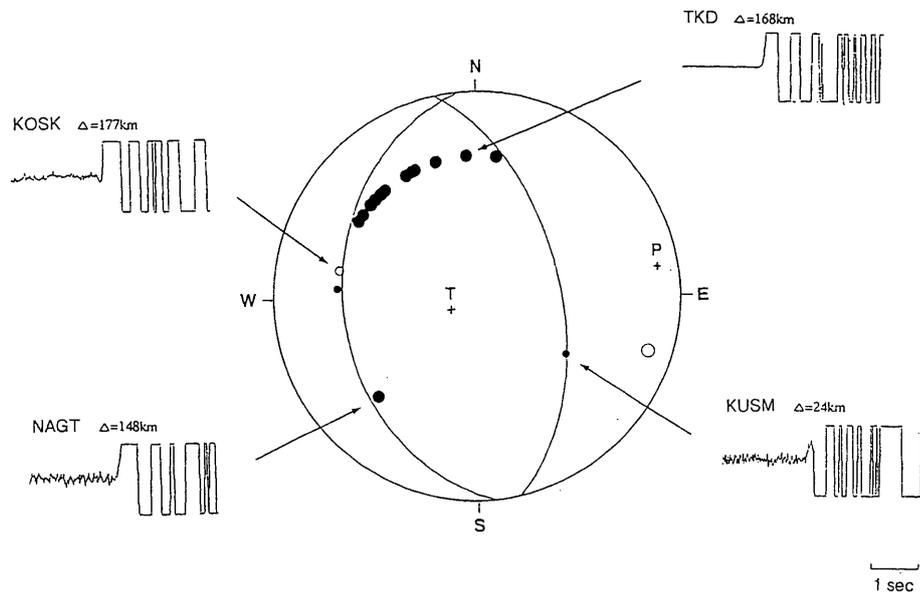
本震発生領域周辺で、1993年4月28日から6月29日の期間、海底地震計を用いた臨時地震観測を北海道大学・東北大学・東京大学と共同で実施した。解析は現在進行中であるが、求められた暫定震源(第3図)を考慮すると、本震発生領域では深さ30km以深に地震が発生しており、今回の地震は地震発生域の最浅部で発生している。



第1図 震源域周辺の地震活動

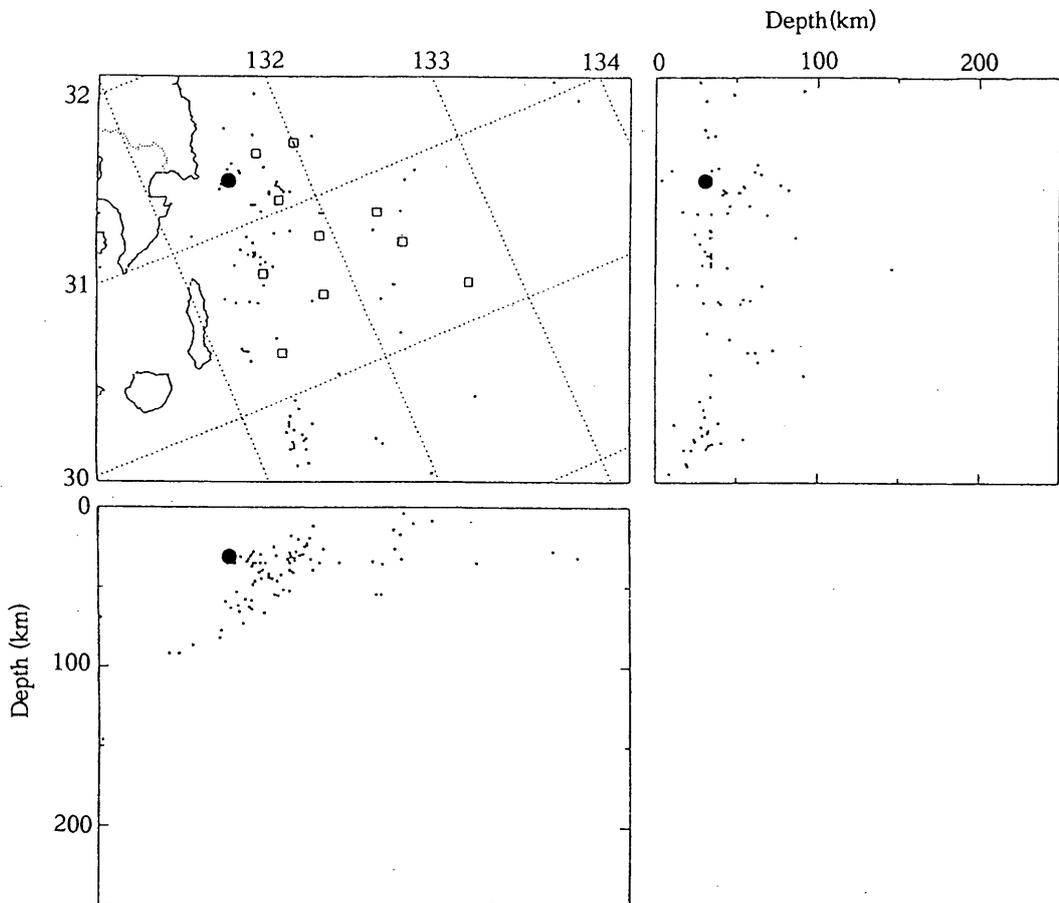
上図：4月1日～本震，下図：本震～5月10日。

Fig.1 Seismic activity around hypocentral area
Top : April 1-Mainshock. Bottom : Mainshock-May 10.



第2図 本震の発震機構（下半球等積投影，●が押し，○が引き）および観測波形

Fig.2 Focal mechanism solution and observed waveforms
Equal area projection on the lower hemisphere (● : up, ○ : down).



第3図 OBS観測による暫定震源分布（1993年4月28日～6月29日）●は本震，□はOBS。

Fig.3 Preliminary hypocentral distribution of earthquakes observed by OBS
(April 28—June 29, 1993) ● : Mainshock, □ : OBS.